

(平成27年6月作成)

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	4005	(H.26)No.	4005
-----------	------	-----------	------

事務事業名	放課後児童対策施設整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
子ども部	子ども家庭室	田中 康生	

会計区分	事業コード	193712
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	放課後児童対策施設整備事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	放課後児童対策施設整備事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	3	子育て・子ども支援
	小施策	3	地域における子育て支援の充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
増設することにより、各小学校区の放課後児童クラブの待機児童の解消とワークライフバランスが保たれる。
事業内容
放課後児童クラブは、対象児童が増加しており、それぞれの小学校には空き教室がなく、現保育室を増設する必要がある。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	放課後児童クラブは、対象児童が増加しており、それぞれの小学校には空き教室がなく、現保育室を増設する必要がある。		
主な事業の実績・計画	・梅が丘小学校区放課後児童クラブ増築工事 ・つつじが丘小学校区放課後児童クラブ空調設備改修工事 ・薦原小学校区放課後児童クラブ障害児受入に係る改修工事	美旗小学校区放課後児童クラブの新築工事	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
			17クラブの施設・設備の改修費	17クラブの施設・設備の改修費	17クラブの施設・設備の改修費

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	28,721千円	32,462千円	100千円	100千円	100千円
内訳(千円)					
国・県支出金	17,704	16,357	60	60	60
地方債	8,600	15,700			
その他()					
一般財源	(0) 2,417	405	40	40	40
人工数					
職員	0.45人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	(0千円) 3,392千円	2,642千円	2,642千円	2,642千円	2,642千円
①+②総事業費	(0千円) 32,113千円	35,104千円	2,742千円	2,742千円	2,742千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
児童増加に伴う施設の増設及び障害児受入れのための施設整備等保育環境の整備を図った。	平成9年から施設整備を図り、全小学校区にクラブを開設しているが、各クラブの空調設備などが経年劣化等改修が必要となってきたため、耐用年数等により計画的に入替工事等を実施し、施設環境の整備に努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	子育て支援施策の整備として、放課後児童クラブの保育環境の整備向上に取り組んでいる。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	放課後子ども教室との連携について、今後検討していく。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 ばりっ子すくすく計画
平成27年4月から施行された子ども子育て新制度においても、放課後児童健全育成事業は、国が少子化対策の一環として推し進めている事業であり、継続していくべき事業である。	